Creative Enzymes®

プロピオニバクテリウム・シャーマニのポリリン酸キナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0912

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ポリリン酸キナーゼは、ポリリン酸とATPの間でリン酸の可逆的な移動を触媒します。ポリリン酸キナーゼによるADPからATPへのリン酸化は、プロセッシブなメカニズムによって行われます。リン酸化は、反□の終了前に酵素からポリマーが放出されることなく発生します。
別名	ポリリン酸キナーゼ; EC 2.7.4.1; ポリリン酸キナーゼ; ATP-ポリリン酸ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

由来	プロピオニバクテリウム・シャーマニィ
外□	無菌フィルター処理された白色の凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 2.7.4.1
CAS登□番号	9026-44-2
分子量	83 kDa
活性	56.5 U/mg
緩衝液	タンパク質は、43.6 U/mlのPPK活性、0.77 mg/mlの総タンパク質、10mMのリン酸カリウムpH 6.8、25mMのポリリン酸ナトリウムを含む1.15mlのPPK溶液から凍結乾燥されました。
単位定義	ポリリン酸キナーゼが、pH 7.5でポリリン酸をリン酸供与体として使用して、1 μmoleのADPをATPに□換するのに必要な量。

保管・発送情報

安定性	凍結乾燥ポリリン酸キナーゼは室温で3週間安定していますが、-18°C以下で乾燥した状態で保存する必要があります。再構成後、PPKは4°Cで2□7日間保存し、将来の使用のためには-18°C以下で保存してください。長期保存のためには、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を追加することをお勧めします。凍結-解凍サイクルを避けてください。